わ（話・和・輪）２年生学年通信
～それぞれの思い～

R7. 2.21 発行
第 38 号

実行委員が話し合い、行事をつくり上げています

卒業を祝う会、立志の式、学年レクの実行委員が、自分たちの手で行事をつくり上げるために、日々、話し合いを重ねています。19 日（水）の歌練習では、実行委員長から「立志の式はこれまで出会ったたくさんの方々、家族への感謝、３年生という大切な時期を迎えるための決意を伝える式です」という言葉がありました。自分なりの「感謝」と「決意」を、志として胸に刻む行事に向かっています。

総合の時間には、自分に向けて「感謝と決意の作文」を書きました。作文の一部を紹介します。

> 私は１４年間生きて支えてもらえて、自分を大切に思うことも大事だけど両親がやってくれたように家族や友達を同じくらい大切に思うことが大事だと知りました。友達や家族は自分と同じくらい大切で自分が家族や友達のために助けたりすることで自分も助けてほしいときに助けてくれる人がいるから、その思いをしっかりもって生活していきたいです。……頼られる人になるには自分から助けたりするという積極性が大事だとも思うので、毎日を積極的に過ごして頼られる人になれるように努力していきたいです。

ずっと与えてもらう側だった自分から、与える側に変わろうとしている心が伝わってきます。

また、認められることで救われた経験を書いた子供がいます。

> ……ある日、そんな自分をほめてくれた人がいたんです。その言葉がそのままモチベーションになり、徐々に自信がついて、ほめられる回数も増えていきました。本当にほめられるたびに嬉しくて、もっとがんばろうと思えたんです。自分の価値を自分で決めることはできない事、その人の価値は周りの人が決める事を知った瞬間でした。……自分はほめてくれた全ての人に感謝しています。同時に周りの人の良い所を見つけ、認められる人になりたいと思いました。

自分が救われたように、周りの人の役に立ちたいという気持ちが読み取れます。

自分と向き合い作文を書く中で、決意の言葉が力強さを増していく作文がいくつもありました。

> ……このことから、私は、人の苦労や痛みを分かり、感謝を言ったり助けたりできる大人になりたいと思いました。……これからも苦しんでいる人の痛みを分かってあげて、少しでも心を軽くできるようにしたいです。また、これからは、自分から困っている人に手を差し伸べられる人になりたいです。このような大人になるためには、まず自己中心的な考えを無くすことが必要だと思います。今、私はまだ、自分優先で考え、行動してしまい、他の人のことをあまり考えられていません。なので、一旦止まって、「他の人はどう思うのだろう」と客観的に考えるということを意識してやっていきたいです。……誰かの良い「当たり前」を守れるように、悪い「当たり前」を変えられるために、日々、一歩一歩進んでいきたいです。

「自己中心的な考え」を無くしたいと強く思う気持ち、良い行動を「当たり前」にできる強い自分になりたいと思う決意を感じる言葉です。

立志の式は、３月 10 日（月）、13 時 30 分より体育館で行います。

≪来週の予定≫

日	曜	朝	1	2	3	4	5	6	行事予定　下校時刻　など
2/24	月	―	―	―	―	―	―		振替休日
2/25	火	読書	式場準備	火２	火３	火４	１・２年式歌練習	火６	部活なし１５：４５下校完了 部活あり１６：２０下校完了
2/26	水	読書	水１	水２	水３	水４	水５	１・２年式歌練習	部活なし１５：４５下校完了 部活あり１６：２０下校完了
2/27	木	読書	木１	木２	木３	木４	式歌練習	祝う会リハ	１５：３０下校完了
2/28	金	読書	金１	金２	金３	金５	金６	祝う会リハ	部活なし１５：４５下校完了 部活あり１６：２０下校完了